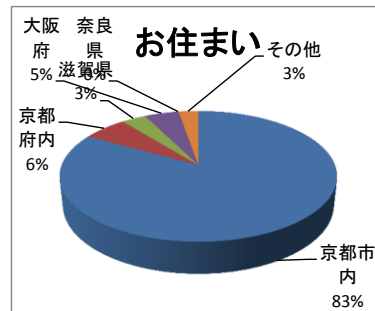
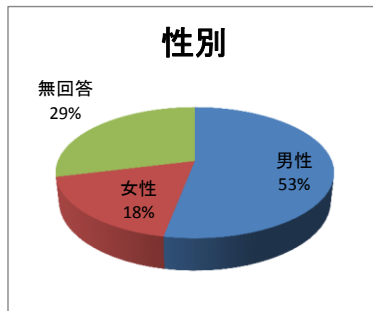
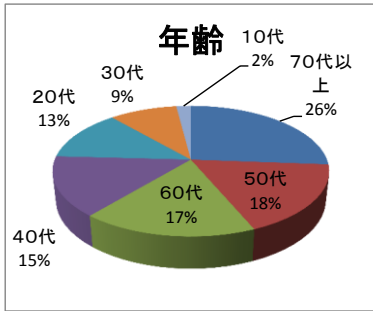
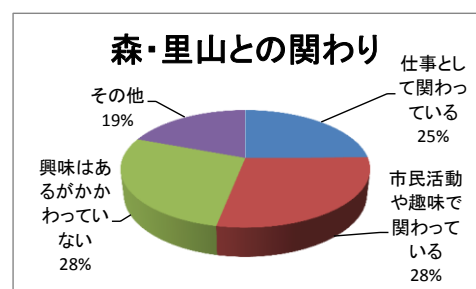
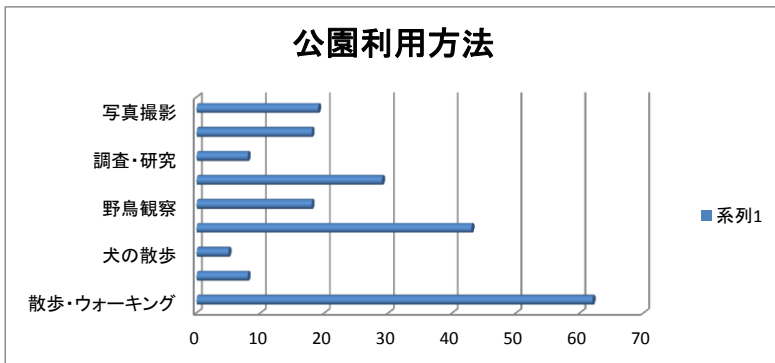
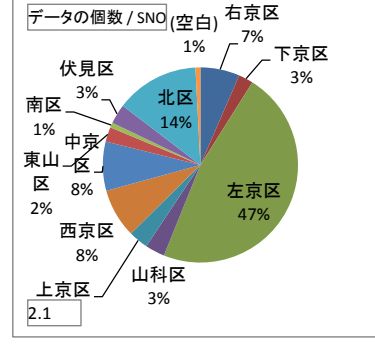
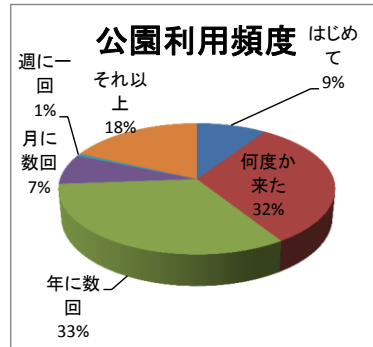
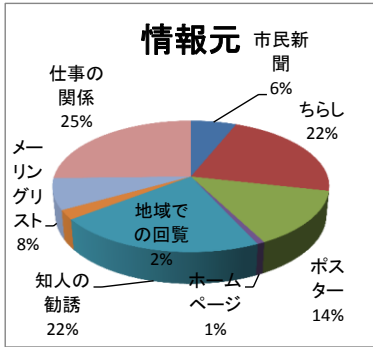


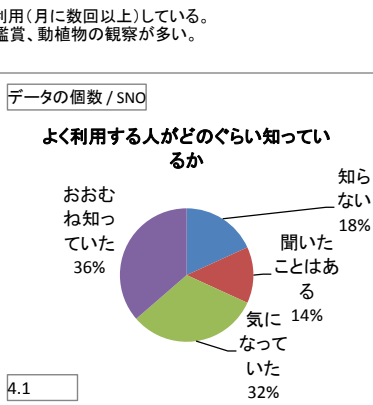
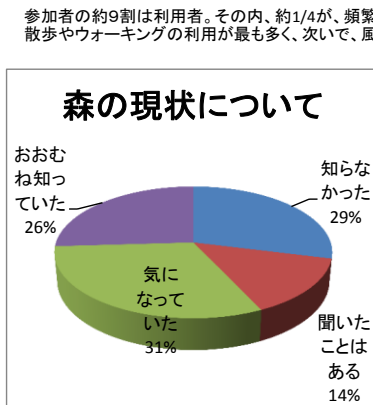
2015宝が池シンポジウム アンケート集計



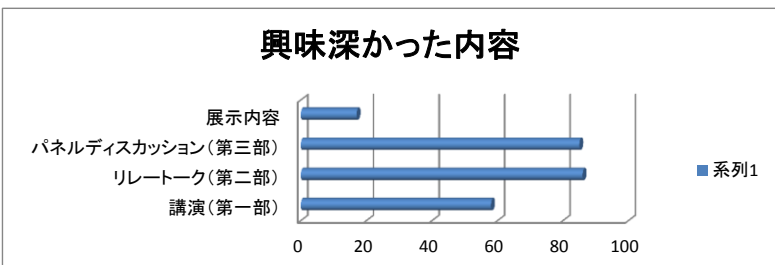
京都市内からの参加は全体の8割強。宝が池周辺区(左京・北区)からの参加者合計は75名。全体参加者の約半数が地元からと考えられる。
※アンケート回収



NPO京都大原里づくり協会 京都森林インストラクター会 野鳥の会 会員として 継続的に関わる時間的余裕がないツバキを植えた 植樹など 桜を植えた ボーイスカウト 森づくり活動 NPO 自然大学 名神深草 森の会 乙訓の自然を守る会 カタクリ 保護 大阪 自然環境保全協会 自然観察指導員 縁がなかった 森林系ボランティア 機会がない 関わり方がわからない 今後は関わりたい 深泥池水生生物研究会 関わっていない 多忙 何をしてもよいのか わからない 法然院の森 西山森林公園 緑化活動 松ヶ崎ヘビが大嫌いのレイリーダー ニホンミツバチ養蜂 宝の森、研究 枝打ち、間伐、草刈り、ヤマザクラ植樹 自然講演指導員 ピオトープ管理、JAC 自然保護 桂川クリーン作戦 P.P. 宝の森 大学の授業 シンポジウムを聞きに行く



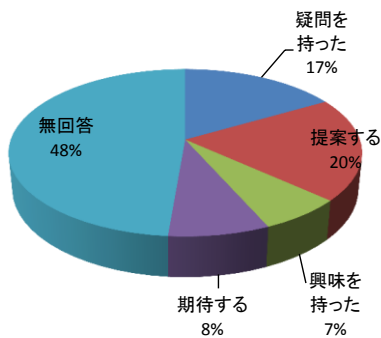
現在の森の現状について、全く知らない人は全体の1/4ほど。約半数は、問題について知っていたり、気になっていたりした人だった。よく利用する人(月に数回)に関しては、68%の人が、よく知っていたり、気



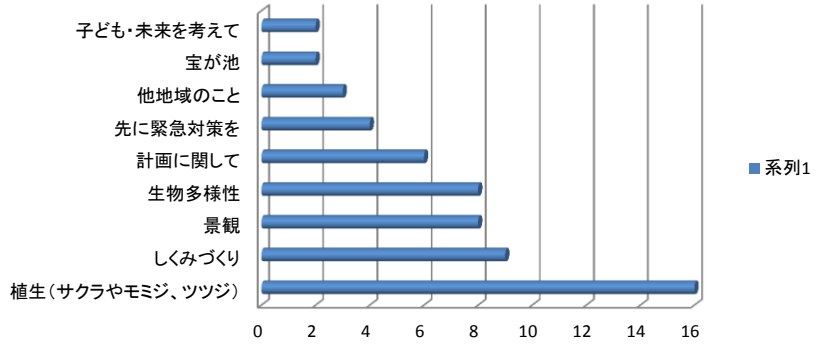
【興味深かった内容: 質問内容】

- 防災対策について
- シカは動物だけ追いついたら・・・
- 宝が池そのものの現状と問題、その対策。Ex: ヘドロ・アカミミガメ・ブラックバスなどの外来種
- 松枯れ・ナラ枯れ・シカの害(シカ)
- ネットの張りっぱなしではダメ。どう管理する
- 私達個々ができることは?
- シカの対策、ブラックバスの対策
- 宝が池の民話、民話にキツネやツツジが出てくるのなら、保存して未来に渡したい
- 今日、よく問題がわかった
- じゃあどうすればいいのかわからない
- 人や森の視点からでない現状について ● 土壌の流出状況
- 宝が池と同様で別の場所の事例も知りたい
- 植物・動物だけでなく昆虫の状況
- 再生の事例、予算 シカの被害について

新景観創造事業について



具体的な疑問・提案内容



植生に関する意見

- 植樹がなぜサクラなんですか
- サクラ・モミジによる景観づくりには興味がある
- 桜の園をつくれ
- サクラには違和感を感じた
- 桜は、ソメイヨシノは植えないで。山のサクラの景観をつくってほしい
- 桜やモミジにこだわる必要はないのではないか。
- 桜やモミジはもうたくさん。コナラ・アベマキ林の再生を
- サクラやモミジはある季節限定の風景である。眺めての風景か歩いての風景かで、植えるものは考える必要がある
- 桜はいらない。モミジも×。松林の再生など二次林の再生について。
- 将来のサクラの山になれるよう期待しています
- ①もともと生えていたツツジやカエデの森にできないですか？②日本の楓はカナダのようにシロップをつくって里山利用に貢献できますか？
- 元ある植生を利用し、なるべく外部からの植栽はしないほうがいい
- 京都市の発想がおそまつ。サクラと言うあいまいな提案がごまかし。ウワミズザクラ、ヤマザクラとなぜ言えないのか？
- 宝が池のまわりのツツジも大好きです。いつのまに山の上のツツジが少なくなったのでしょうか？
- 桜は多く春に注目される。サクラにこだわるならどこにでもあるソメイヨシノは外す。他のたくさんある桜の名所と時期をずらすなど特色を出す必要がある。一年を通じて訪れてもらうには、サクラだけでは不十分。新緑や紅葉の美しい樹種を、在来から探し、スポットを当てるべき。
- 桜の植林が本当に良いのか？ソメイヨシノ以外の種ではダメなのか？ヤマザクラなどの野生種
- これまでの植生について調査して、樹種は決めてゆくのがいいのではないかと？
- 宝が池の土地に合った木や植物を植える 適地適木の考え方にもとづいた植林樹種の検証が重要だと思います。
- サクラは美しく、どんな場所にも生育しやすいかもしれませんが、本来の宝が池に自生していた樹種こそが再生されるべきだと思います。重要地以外の良い木をどのようにしていくかを地域住民や関係者と共に考え、共通ビジョンを検討していくべきではないでしょうか。
- 高山に新たに植栽を考えるよりも、現在ある又はあったものを保護育てていくことの方が大事におもう。かつてのコバミツのトンネルがどこにいったのかという現状。あのトンネルは是非復活させたい。
- 昔のようなミツバツツジの咲き乱れる山になる様皆さまで努めていただきたいです。
- 病後、コバノミツバツツジの美しさに、長年住みながら3年前に感動し、毎日池の周りを歩いています。この美しい自然を守り続けたいです。

計画に関する意見

- 長期的な視野のもと、質の高い公園になれば嬉しいです。
- 花を植えたりするのは良いことだと思う。
- 花見ができればいいね
- 世界に発信してほしい
- 実現すれば良いと思います
- 京都市の計画は、造園計画であって里山を回復させる計画とはちがうのでは？
- 京都市に期待する
- 老人たちのボランティアによる整備事業を行う
- いきなり工事より、じっくり計画してください。伐採ぐらいいらないですけど
- ガソリン車は待ちに入れないという外国(スライド)がありましたが、ディスカッションの最後にちかづき、付近に駐車場がない、以前はもっと車で人々が集まっていたようなことを話されていました。不思議です！里山には車はいらないのでは？残念なことになりました。
- 他の事情からくる決定事項を前提に景観創造と称して手を入れることは非常に危険です。更なる新たな社会コストを産むだろうと危機感すら感じました。
- 高山以外にも広がって、将来が楽しみになってきましたね。わくわくします。
- ただサクラやモミジを植えるだけでなく、宝が池らしいストーリーが必要なんだろうと、第三部を聞いて思いました。
- 具体案を確認したい
- 少しずつ進めていってほしい
- 公園内にある桜も痛んでいる事を知り、植物園などで手入れが行われているが、ここでも手当をすることによって美しい桜がよみがえると思われる。
- 高山が一番にというのは納得できない。
- ぜひ推進していただきたい
- 良いことだと思います
- 高山付近は入ったことが無いので、是非まず入りたいです
- 財政的に厳しく、時間もかかりそうだが、是非続けてほしい
- 花見山のようにするには、何十年という月日がかかるので、スピード感をもって着手していかないと、事業が全然進まないと思う

子ども・未来に関する意見

- 宝が池の森の中で、森のようちえん活動(どろんこ園)をしています。未来の京都をつくっていく子どもたちが、豊かな自然の中で日々活動できることを感謝しています。今後、高山が、「森の幼稚園」かどうの拠点の一つとして活用させていただけるようご期待しております。
- 幼児や小学生の野外教育施設子どもたちが土や木々、動物などにふれる自然を。子どもたちが大人になってふり返れる山。
- もっと早くからこのようなことが問題化されていたら、今のような子どもの楽園の形ではなかったと思う。以前の子どもの楽園のサクラたちは、、、せつかく若木が育ててすばらしい花をつけるようになったら思ったらすべて切られて、芝生になっていました。心が痛みます。夜はシカの楽園となっています。
- 人間のテリトリーに入り込んだシカを追い出す前に、シカのテリトリーに入り込んだ人間の方は何をすべきなのでしょう。あまりにも身勝手。自然との共生を考えてください。無計画な都市開発のついでにやってきたのです。

しきみづくりに関する意見

- 海外からの寄付を集めるしきみづくりが重要と考えます
- 必要な補助金の継続的な支援
- 資金をいかに確保するかが問題
- 観光にも結び付く自然保護のために、やはり資金は大事だと思います。不公平に感じている山々を借景にしている寺社仏閣の非課税には疑問です。何か協力されているのでしょうか？
- 強いリーダーシップにより事業の継続を期待します。
- 幅広い市民運動となることを期待します
- せつかく深泥池などの貴重な自然もあるので、単なる景観地・観光地にするのではなく、利用者・地元の方がもっと深いかわりをもてる形で持続的な管理をしていただければと思います。
- 協働・共働
- 自然にふれあう市民の広場・公園として次世代までも管理維持していけるよう、市民が協力していきたいです。ボランティア活動などの内容提示も活発に案内いただきたく思います。
- 多くの中小企業で取組されているKESマネジメントシステムに2015年より環境保護活動が追加されます。この関連で企業のボランティア活動になりますが、どんなお手伝いがあるのでしょうか？(メールアドレス有)
- 市が実施するのであれば、公共事業なわけであり、市民の森という意識がなくなるので、財政の面からいっても市民の森にしてほしい
- 岩倉地域の住民をまきこんだ活動にしてみたい
- 人のつながりも重要ですが、ボランティア頼みも限界があると思います。

景観に関する意見

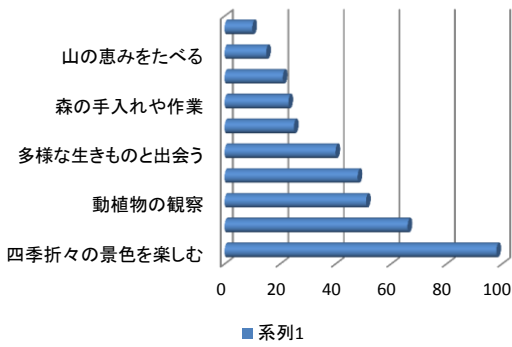
- 四季を通じて足を運べる場所として常に鑑賞できるように
- 景観の上では高山からというのは違うと思った。10〜20年、それ以上を見た上で何を優先して行うかを考える必要がある。
- 京大の校歌にあった風景には戻せませんか？
- 景観づくりだけではない
- なぜ新たな景観が必要か？そのむずかしさがしっかり市民に伝わる事業にしてほしい
- 防災と美景観の創造。のびのびおおらかに創作してください
- より里山を考えたより自然な景観とは何かについて考えていただきたい。
- 山、里山は「景観」だけがその役割ではないので、総合的に考えた上でその植生を決めて行って(再生)ほしい。
- 事業の効果が景観を目的としてもに偏りすぎている。(見せ方)景観を想像した後、のあり方や、現在の問題をしっかりと踏まえたあとに事業に取り組んでほしい。
- 景観をよくすると発想は、「人と自然の共生」という里山の意義とマッチするの考える必要がある
- コケ景観を大切にす文化

生物多様性に関する意見

- 鹿の為だとか、山の下にすんでいるので外に足している花も 共生は難しいのかな
- 虫が極端に減少しているの、草地を育てる手入れが必要
- 多くの野鳥の住みやすい森づくりを
- 木を植えるときは、遺伝子にまで配慮いただき、地域性種苗の利用をお願いします

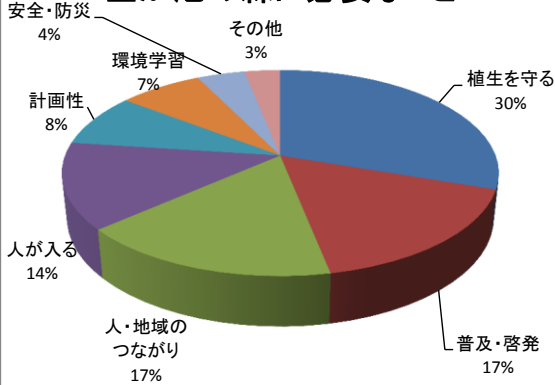
どんな森になってほしい？

はですか？



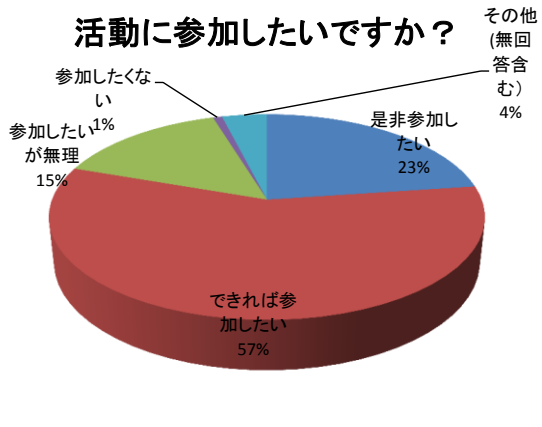
宝が池の森に必要なこと

ことは何だ



活動に参加したいですか？

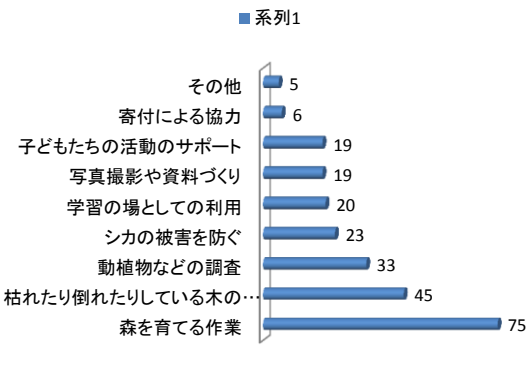
たいと思



こ思いますか？

どんな内容なら参加する？

か？



【今、宝が池の森に必要なこと・大切なことは何だと考えますか？】

子ども・未来

- 地元の子どもたちが自由に遊べる里山
- 散歩やハイキングはもちろんだけど、今の私たち(子ども)に自由にあそんでもらい、ふれあい、未来へときれいに残してもらい、残す事
- 継続的に人が関わり子どもたちが将来関わっても良いと思える懐かしい場所と思ってもらえるようにする
- 人の関わり(利用、手入れ、学習)環境教育の拠点として市内小中学校のフィールドワークの場にしていく
- 人と自然との係わりを学び、見つめなおす場としての活用
- 人の心
- 「狐坂」という地名があると伺いました。昔話が、未来の子どもに確実に伝わる森にしてほしいです。
- 子どもたちにも教え、誇れるように自然の植生を回復すること

森の再生・シカの食害対策

- シカ対策 ● シカの数をへらすこと ● シカの駆除 ● 防鹿、山の手入れ継続的に ● シカの防除
- 地域との協働、シカ対策、人と人との結びつき、希少植物の保護
- 木の植え付け、手入れ、シカ予防 ● シカを少なくする。猟友会に頼ってはいけません
- シカ害、ナラ枯れ、表土流出などの現状から根本的処置が必要
- シカをへらす。植栽樹木がシカによる被害で悲惨なことになっていて、シカを生かしつつ、樹木を守る対策が必要だと思います。
- シカにやさしく、シカ被害を防ぐ ● 森の再生 こまめな手入れ
- 病虫害被害調査 ● 取り急ぎ、里山の荒廃を防ぐ ● 枯死木を伐採・活用
- 里山の手入れ、シカの捕獲 防鹿柵の早期の設置、ジーンファームでの種苗確保
- 行政の理解を得ながら、市民・企業など民間尽力による枯死木などの伐採・防鹿柵の設置

自然

- 国際会議場のある場所なので、特に自然を失わない公園にしてほしいと思います。
- いつまでも緑なす里山を維持する
- 四季の風、日光の動きを調べてから、植樹、山の整備などをすること。自然がのびのび育てば自然に鳥たちもやってくると思います
- 池の周りが地帯なのがうれしいです
- 里山としての保存、動物たちとの共生(奈良のシカ公園のような構想はできないのか?)
- 植生のバランスを守ること。でも良い悪いを判断せずに見守ること

安全・衛生

- 安全に訪れたい場所 ● 防災
- 京都だから何となく安心ではなく、夜遅くの利用者や池周囲のカメラの設置や安全性の強化。危険な子ども事件など、他府県では多いため何かあってからでは遅いため
- 人間のマナー意識。びつくりするような所にゴミがはさまっていたり、今ついたり。幹を踏みつけていたり、糞尿やらせ放題の犬の飼い主 ● 森の再生と美化(ごみの散乱をどうするのか)

啓発活動

- 様々な人たちの協力を手をつなぐこと 宝が池の現状を多くの方に知ってもらい、皆に森の危機を感じ、森の中に入っている環境づくり
- 動物にくらべ、植物についての関心が低いので、私たちが生きていくうえで森林は大切であるということをもっと伝えていくべきだと思います。
- 多くの京都市民にもっと宝が池の現実を知ってもらおう。 ● もっと利用してもらおう
- このような情報を共有する機会が大事。特に若い人(学生)に向けたもの。
- 情報発信や環境学習会やワークショップなどを通してたくさんの人々が関わり、市民の森としてもっと広がって行きたいなと思います
- 宝が池の森の現状をもっと多くの人にアピールしていくことだと思います。年に数回シンポジウムを開く
- たくさんの人に、現状を知ってほしい。宝が池の問題は他の森、林、家の近くの自然でもあるので、問題意識をもつきっかけになるように思います。 ● 普及・啓発 ● 現状を多くの市民に知ってもらおう
- 市民、特に左京区民が関心をもつこと 植生を豊かにすること ● 京都市民の関心
- 人のつながりと守るための手立てをつくる。知ってもらうことですか
- 問題が深刻化していることをみんなが知ること みんなの力を大切にしなければという気持ち。どんどん説明して、協力者を増やしましょう

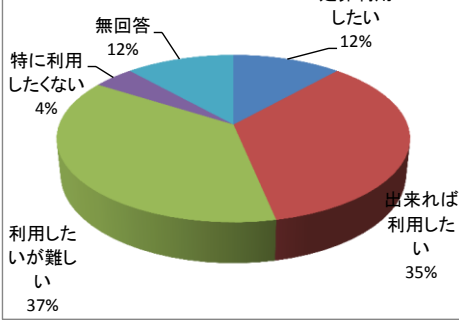
人・しくみづくり

- 人。なるべく多くの年代の地元住民(継続・ベース)が新しい考えを持ち込む、宝が池に興味をもつ人を受け入れる ● 人がはいる ● 人が入ること ● 人が森にまず入ること ● 手を入れること
- 人間尊重
- 人が入り手入れが定期的に行われること 地域力。愛する気持ちと継続する力
- 人の手による管理 ● 人の手、ボランティアの力 ● 手入れ ● 市民による市民のためのもりづくり
- 樹木や植物、動物とのかかわりができるように、地域での取り組みが必要
- 市民行政の一体となった里山に
- 地域の人々との関わり、市民の環境への意識の変化が根本的に必要で、行政の意識の変化が必要
- この森に関わっている人、関わろうと思っている人にこれからどうすればよいかコーディネートできるコアとなる機関が必要 ● 人のつながりと守るための手立てをつくる。知ってもらうことですか
- 生態学だけでなく土壌に関する専門家など分野横断的な連携

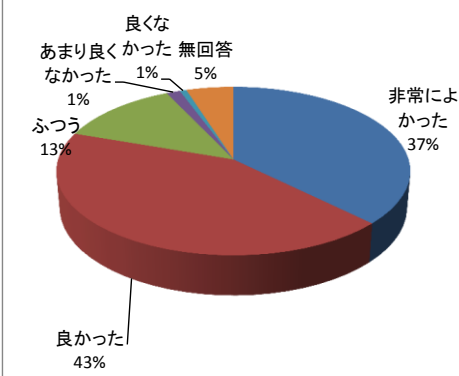
計画・アイデア

- 植生の再生 目指す目標をひとつにみんなで取り組むこと。(活動内容は違えど、心は一つ...みたいな)
- 行政、外郭団体、地域団体、大学などが様々な活動をしているが、最終的なビジョンを全体で統一しないと結局バラバラするだけなので、定期的に方向性を確認する必要があると思う

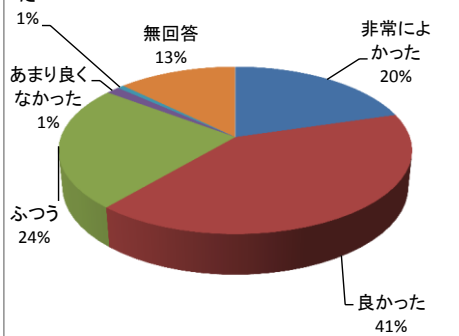
伐採した木材や炭を使いたいですか？



会場はいかがでしたか？



展示スペースはいかがでしたか？



【運営】

- 展示ポスターが少し多すぎる。ジオラマみたいな立体でんじを
- 客席がフラットなので、パネルの様子がよくわからない。客席は階段状の会場の方が良かった。配布資料がバラバラで、どの部での資料を見たらいいかわからない。配布資料はある程度まとめてもらった方がわかりやすい。
- 資料の順番がわかりにくい。まとめて番号をふってほしい。
- 会場が暑かった
- スクリーンの資料がわかりやすかった。

【内容】

- 具体的な話、事例が面白かったと思います。
- シンポジウムの時間が長い。参加者が飽きるし、疲れてしまうので、後は交流会という形ですか、参加者がリフレッシュできる工夫をプログラムに盛り込んでほしい。
- たくさんの専門の方のお話をきけてよかったです。次は実際に外に出たい。
- 今日の内容は報告ばかりで、もうちょっとディスカッションが聞きたかった。3時間では無理かな…。市民向けの内容だと思うが、ひとりひとりどうう手を出していいのかわかりませんでした。見守るだけでは心配なので、足を運んだのですが…。
- 京都市だけが意見が違うように感じた

- ### 【伐採後の利用方法】
- バイオマス資源 ● キーホルダーを作ったり炭でBBQ ● ストープ ● 家庭での料理 ● 土壌改良材 ● 水の清水、川や池に沈めて浄化した美しい水に ● シカでも焼いて食べますか ● ジビエの可能性をさぐる。
 - 植物の肥料化 ● 炭を利用してパーベキューパーティーをしなきゃだめだと思います。 ● モチや肉を焼いて、子どもたちに食べてもらう。楽しむのが継続に大切 ● キャンプ、パーベキューの燃料 ● 生活の為で、木製品として ● 間伐材での工芸品

【利用できない理由】

- 使い道がない ● 屋内での利用は難しいのでは？

● 利用はしているが、家の構造に無理 薪利用

【自由記述欄】

- 子どもだけではないと興味があった。シカ小屋をつくりふれあえるところにしたらいいのではないかな？（小学生）
- シカを追い出すのはどうかと思う。シカは何も悪いこと（木を食べるのは別で）をしていないのに、追い出すのはダメ。シカ小屋や動物園で飼い、奈良公園みたいにシカに触れあったりしたらいいと思う。（小学生）
- ネットを張ったあとの管理、難しいことですが、人とつながり、持続可能な活動になってほしい。
- 森の幼稚園どころに園の石川と申します。27年3月より宝が池で活動することになり、今後、宝が池の森づくりにも関わっていきたくて思っています。園活動にご理解、ご協力をお願いします。
- 大学人として今後の進展についても注視したいと思っています
- 21年後へどのようにつなぐのか、単に形だけが整うのではなく、持続的に続けてゆける、人と自然のかかわりが良い関係となり、自然がよみがえる根本的な対策がベースの活動にしていきたい
- 京都に暮らしてはじめて自然がとても身近になりました。家のよこには杉林が広がっています。しかし、気が枯れたり、おそらく宝が池の森と同様の問題があると思います。私に何かできることはないのか？その言ってるの思いで参加しました。多くのことを学びました。長島さんともう一方を中心とするプラットホームの立ち上げの瞬間に立ち会えたこと、今日参加できてよかったです。ありがとうございました。
- 京都のセンスを販売したことがあります。今の大人や子供は「千鳥」を生で見たことがないとおっしゃいます。日本の縁起物の鳥をまもってほしいです。由来を「未来」に伝えたい。
- 私自身も最近、森・川・海の環境に興味を持ち始めたばかりです。小学・保育園、家庭で子どもに森の教育、森にふれる環境づくり、大人も森を知らない人が多い。みんなが森をしる場づくり→森への再生につながるのではないかと感じるところです。自分もまだまだですので、もっと森を知っていきたくて思っています
- 宝が池の森は、荒廃しつつありますが、問題意識の共有は徐々に進んできていますし、研究者や行政の方の連携も深まってきています。この体制で進めるプロジェクトについて、より広い範囲へのPRしていくことができれば、シカの問題も含めて解決していきけるのではないかとおもいます。（時間はかかっても）

【植生・景観】

- 景観を大切にするという美辞が、自然破壊を進めている面もある。外来植物、動物が増える中で、「高山にサクラ」に自然破壊の恐れはないかを危惧する。アカマツやヤマザクラなどの自生の植物の植生なら許せるが。
- 「ふるさと」という歌を歌った時、生物多様性がある里山を思い出す。サクラの木を池の周りにうえるということはどうなのか？世界の人に来て、どこでも桜を見て、どうなのか。雑木林の季節で変わる山をみることの意味を考えた。故郷の歌に、サクラやモミジは入っていない。
- 図面の上だけで、サクラの森や子どもの楽園は設計されたのではないと思う。サクラの森の地には桜の居心地がよいのでは？梅園の梅も気に入り。やはり風とお日様かな？それから大きな木がどんどん切られている。ニセアカシヤは特に切られている。これだけ大きくなるのには、50年はかかるのに外来種だからかな？公園に陰がなくなっていく…。山が重傷なのがひしひし感じてました。やっぱりという感じです。
- 市長の言っている事（サクラの話）は京都、福島にサクラにとって、本当にいいことなのかどうか疑問でした。
- 第二部にあった「空間の履歴を大切にしよう」ということも踏まえた計画づくりも大事だと思います。宝が池の価値は昔と変わっているけれど…。
- 観光のための景観づくりではなく、地域の人にとって愛着のわく思い入れのある景観づくりをしてほしいと思います。
- 宝が池周辺のためにたくさんの団体が関わっていることを初めて知た。住民や利用者の関心をもってもらうようなPRがもっと必要なのでは…少なくとも「宝が池マラソン」でここを利用している複数の小学校ぐらいは学習に取り入れることはできないのでしょうか？たぶん乳幼児のころから親しんでいる場所ですから、愛着心も重要。

【疑問・投げかけ・要望】

- 工事をする場合があるが、総合的管理をしているのか疑問
- 自転車での利用が不便。まったく案内が無いに等しい。もっと自然を大切にす為には、駐車場ではなく、自転車置き場を充実してください。
- 里山保全についての講習会などの実施、重力植物調査の学習会などの実施。（特に大学との協力などで）
- 梅の森、サクラの森、ツツジの森、アセビの森。というように、特色のある区域づくりをしてはどうか？「妙」へあがる道から東の端から待ちえ降りてゆく道を作ってはどうか？馬を養っているところを子どもたちに見学できるように開放してはどうか？ホテルの西から坂をこえ、墓地をこえて、池田町へ行く坂に該当を設置してほしい。
- 生態系についての問題としては、野良猫の駆除は出来ませんか？1、林床性の生物への影響→シカの食害では同様の銀閣寺国有林によりひどい。ルリビタキ、トラツグミ、アオジの減少。2、動物保護の問題→餌付けによる密度で、感染症リスクが高いと思う。かつて宝が池のタヌキが餌付けによって感染症が流行し全滅したようなことがある。4、環境教育の問題→猫のシェルターのつもりの箱は、放置ゴミにしか見えない。

【連携・共有】

- 私の周囲では宝が池に来られるかはあまり、ほとんどいらつやらないです。やはり一部ではなく、里山、宝が池にもっと関心を持ってもらうようにすべきではないでしょうか？
- 宝が池は京都盆地周縁の一部である。他所も同じような課題がある経験をさらに共有すべき。
- ディスカッションなどで宝が池に興味をもっている人の横のつながりを作ればいいと思いました。
- 宝が池から広がって、北山や府の所まで広がったと思いました。

【宝が池】

- 宝が池の水利用を考える（水生植物・田んぼ）池の話が多く聞けるのかと思っていましたが、山の話が多かった。宝が池の里山は池と山が一緒になって話さなくては ● 池そのものも里山の一環と考えます 宝が池周辺の里山の管理者は誰で、誰が入って利用（人の手を入れる）ことができるのでしょうか？奈良公園と似た問題が多いです。孫たちと宝が池のこいに餌をやるのを楽しみにしております。パンの耳を持っていくのですが、良いのか悪いのか…。その中で、池の水が汚いのが気になっています。今が一番汚いことにしても池もきれいに気持ちの良い公園になってほしいと思います。

【資金について】

- CSR、企業に財源重点すると一過性の恐れがあるのでは？現在は景気プラス状況である程度数年は寄付の期待性は高いが、後退時局面になった場合持続的な財源の後ろ盾がなくなるのでは？CSR+企業事業ミックスの可能性も検討が必要ではないか？ ● 足りない資金を募集してはどうですか？ ● いろいろな知恵を生かして公的な資金で宝が池の山を整備する必要があるのではないかと感じます。京都は山が美しくあるので観光が成り立っているとおもっているの、観光という考えでもっと市の予算を使っていたらいいと考えています。

